

## 1. 本園の教育目標

人間性を豊かに育て、幼児期に必要な様々な経験を通して、心身ともに健全なたくましい子どもが育つよう3つの教育目標を掲げている。

1. げんきであかるい子
2. こころのやさしい子
3. よく考え、工夫し、表現する子

## 2. 重点的に取り組んだ目標・評価

幼稚園教育要領の改訂に伴い来年度よりの新しい教育課程の実施に向け編成を行い、新しく取り組むべき内容や深めるべき点を検討した。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
これまでの保育についての評価・反省を活かし、新しい教育課程の編成を行う。	学年ごと、子ども達の現状に照らし、また、日常の保育の評価反省を活かし新しい教育課程の編成を行った。
安心・安全な毎日が過ごせるよう広い視野で子ども達の園生活を見守り、気付き判断、実行を迅速に行う。	園児、教職員の避難訓練は毎月、地震、火事、不審者、警戒宣言発令など色々な想定で行われた。遊具の点検、修理も定期的に迅速に行われ、子ども達への安全指導もその都度、くり返し行った。教職員の救命救急、AEDを使用しての心肺蘇生の訓練が今年も行われた。流行性の疾患についての保護者への情報提供も迅速に行われ、家庭との連携で園児の健康管理を行い成果を上げることができた。
保護者に対し、園の取り組みを理解して頂くと共に、積極的に保育に参加してもらおう。	園だより、学年だより、取り組み速報カード、ホームページを使って園の取り組みやその時々様子を保護者に伝えた。運動会、祭&作品展の行事開催については、準備から、後片づけに至るまで保護者の協力の下、盛大に行うことができた。また、毎月クラスごと、保護者が絵本の読み聞かせを行い、多数の保護者に保育参加をして頂くことになった。
地域の老人クラブの方々と交流し、一緒に活動をする事を通して子ども達の経験を広げる。	地域の老人クラブの方々の畑へ出かけ、ジャガイモ掘り、大根抜きを経験をした。来園された老人クラブの方々に指導されながら花の苗や球根を植え、花を咲かせたり、花で染め物体験をした。こままわし大会では、来園された地域の方々に昔の遊びをご披露頂き、一緒に体験をさせて頂いた。
研究・研修会に積極的に参加し、新しい考え方や情報等を取り込み、延いては日々の保育活動に寄与する。	教育要領が改訂され、教育課程の編成という課題もあり、説明会には教職員全員で参加した。山梨大学附属幼稚園の公開保育にも全員で参加し、研究内容を共有し、その後の本園の教育活動に活かしている。また、個々で参加した研修会の内容は、報告書にまとめ報告会を通じて共有し、迅速に活かすように心がけた。特別支援教育についても、研修会に度々参加し、最新情報を職員間で共有したり、園独自の研究会も開催し、研修に励んだ。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教育課程の編成という作業を通して、これまでの自己評価で課題になっていた取り組むべき内容や深めるべき点を教職員間で共通理解し、創意工夫の上に保育活動の中で実践出来た事も多々あり、概ね目標は達成できた。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教育課程の実施と見直し	新しい教育課程の元、教育計画を作成し、実践を行うわけだが、今後は縦の関係も検討しつつ、評価反省を反映させながら、更に見直しを行う。
食育活動の充実	給食設備のない本園では、あまり取り組みをしてこなかったもので、新たに食育を活動目標に掲げ、研究・研修を深め、子ども達の園生活に自然な形で取り込む。
安心・安全な園生活を目指す	地球温暖化の気候変化をふまえ、年間計画を見直す。ゴーヤの栽培などエコ活動へも繋がる温暖化対策を試み、子ども達の健康管理に取り組む これまで教職員のみやっていた救命救急、心肺蘇生訓練を、保護者にも受けて頂く機会を作る。
子育て支援の充実	平成20年度より開始された2才児の親子登園の内容を検討し、参加者へのアンケート結果からの要望も取り入れながら、内容の充実と、取り組みへの理解が頂けるような情報提供への努力を進める。

#### 6. 学校関係者の評価

学校関係者より、幼稚園運営については概ね良好と意見をいただいた。自己評価を行う中で、教職員の客観的に幼稚園を見る目が養われ、改善点に自ら気づき、改善への努力が迅速に行われることは評価すべき点と考えられる。

#### 7. 財務状況

会計処理についても適正に処理されている旨の報告を公認会計士より受けている。